

～ 家族のきずなを深め、地域で「家庭」を支える県民ぐるみの運動～

「ひょうご家庭応援県民運動」だより VOL. 15**ひょうご家庭応援県民運動とは**

県民一人ひとりが家族・家庭の大切さを考え、きずなを深めるとともに、地域全体で多世代が交じり合い共に支え合う『地域三世代同居』の実現をめざし、地域で家庭を支える多様な取り組みを推進しています。

家庭で親子がお互いのことを話し、聴く時間はどれくらいありますか

平成25年版『子ども・若者白書』によると、1週間の父親との会話時間が5時間に満たない子どもが31.8%、同じく母親との会話時間が10～19時間の子どもが20.1%でそれぞれ最も多くなっています。

家に帰ってからの子どもが費やす時間は、テレビ、学校の宿題、友達との携帯電話でのやりとりなどに優先されてしまい、親との会話は後回しにされているのではないのでしょうか。

親の大事な仕事のひとつは、子どもに家庭は安全な場所で、あなたは愛されて守られているという安心感を与えることではないのでしょうか。家庭は親と子どもがともに過ごし、育み、育まれる場所です。

家族の大切さに思いを寄せ、今日は親子での会話の時間を、少し多めにしてみてください。



家族の日
家族の週間

兵庫県立110番センター | 兵庫県立こどもセンター | 兵庫県立高齢者センター

第6回「家族の日」写真コンクール作品募集

第5回「家族の日」
写真コンクール入賞作品

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一環として、「家族の日」写真コンクールの作品を募集します。9月30日(月)までに所定の応募票を作品の裏に貼付し、下記「ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局(兵庫県男女家庭課)」へ郵送または持参してください。兵庫県知事賞ほか入賞者3名及び入選者10名には、多彩な副賞を用意します。

詳しくは、兵庫県ホームページから「家族の日写真コンクール」で検索してみてください。

家族による気づきや見守りをお願いします (兵庫県健康福祉部 いのち対策室)

県内では減少傾向にあるものの、今なお交通事故よりもはるかに多い年間1,200人以上が自殺で死亡しています。

その多くは健康問題や経済・生活問題、家庭問題などさまざまな要因により、心理的に追い込まれた末に起こっており、だれにでも起こりうる危機です。

実は自殺を考えている人は、不眠、原因不明の体調不良など、何らかの危険を示す「サイン」を発していることが多いのです。そのため、いちばん身近にいる家族がそのサインに気づいてあげることが大切です。そして本人が抱えている悩みを、温かみをもってじっくりと聴き、一緒に考えてあげてください。

作成・発行：ひょうご家庭応援ネットワーク会議(こころ豊かな美しい兵庫推進会議・家庭応援団)
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000275.html

問い合わせ先：ひょうご家庭応援ネットワーク会議事務局(兵庫県健康福祉部 子ども局男女家庭課家庭施策係)
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-362-3169 FAX 078-362-3957
E-mail danjokatei@pref.hyogo.lg.jp